

メディアと多文化共生

「動かすつづける。自分を。未来を。The Future Isn't Waiting.」

2020年11月下旬、上記タイトルの動画をNIKE(ナイキ)社がYoutube上に公開しました。この2分間の動画は在日コリアン、ミックスルーツ、日本人と思われる3名のサッカー少女の日々の苦悩や葛藤を描いたもので、公開直後から称賛や批判などが日本のSNS上で見られ、大きな注目を集めることになりました。

この動画で描かれたストーリーはリアルな実体験に基づくものであるとのこと。私たちは、テレビやインターネットなどのメディアにおけるステレオタイプの(型にはまった)視点、中でも社会における在日コリアン・「ハーフ」と言われる人々へのまなざしについて、認識できているでしょうか。今回のオンライン講座ではハントンヒョンさん、ケイン樹里安さんお二人から在日コリアン・「ハーフ」の日常について解説いただき、お二人のクロストークも交えながら人々の多様性、多文化共生社会について参加者とともに考えます。

画像: pixabay

日時

2021年3月13日(土) 10:00~12:00

「Zoom」によるオンライン開催

※お申込みいただいた方に
前日までに招待URLを送ります。

講師



ハン トンヒョン (韓 東賢: 日本映画大学准教授)

1968年東京生まれ。専門は社会学/ネーションとエスニシティ、マイノリティ・マジョリティの関係やアイデンティティ、差別の問題など。主な分野は在日コリアンを中心とした日本の多文化状況。韓国エンタメにも関心。著書に『チマ・チョゴリ制服の民族誌(エスノグラフィ)』(双風舎, 2006。電子版はPitch Communications, 2015)、『平成史[完全版]』(共著, 河出書房新社, 2019)、『ジェンダーとセクシュアリティで見る東アジア』(共著, 勁草書房, 2017)など。



ケイン 樹里安 (大阪市立大学都市文化研究センター研究員)

1989年名古屋生まれ。専門は社会学/文化研究。主な分野は、「ハーフ」や外国にもルーツをもつ人々の日常と日本社会のレイシズム、都市文化よさこい踊りの身体実践。「ハーフ」や海外ルーツの人々の暮らし、経験、研究などを発信・共有するプラットフォーム HAFU TALK(ハーフトーク)共同代表。著作に『ふれる社会学』(共編著, 北樹出版, 2019)など。

問合せ・申込み

申し込みフォーム
こちらから



(公財)大和市国際化協会

大和市深見西1-3-17

市民活動拠点ベテルギウス北館1階

<https://forms.gle/Ct9m9haBUtnf6P6K8>

TEL: 046-265-6051

Email: pal@yamato-kokusai.or.jp